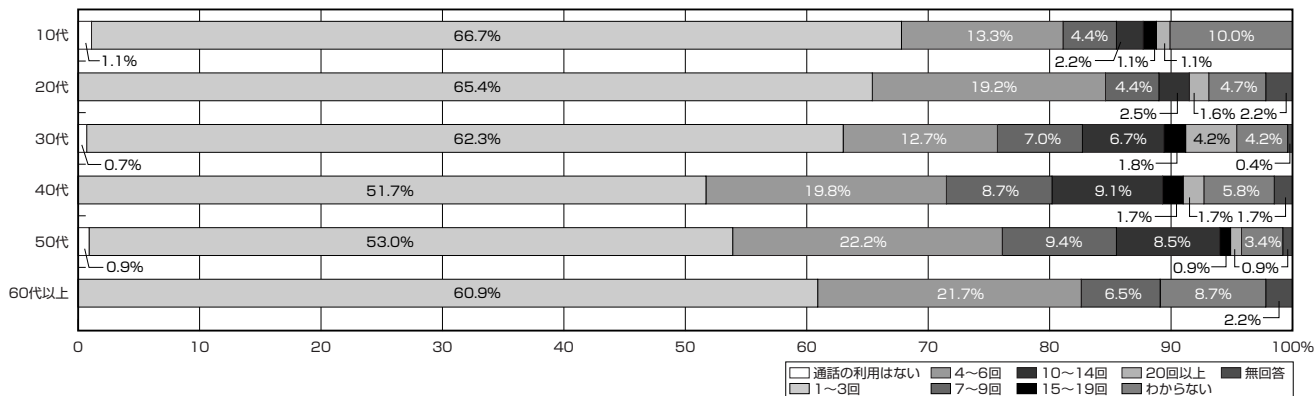


第2章 携帯電話/PHS利用者

年代別利用頻度

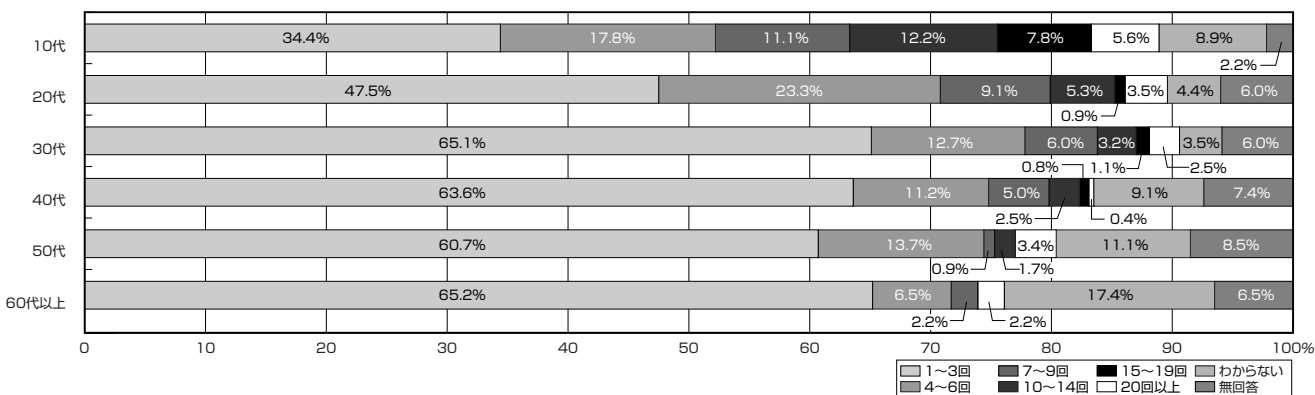
10代は通話よりインターネットを使う

資料1-2-14 年代別携帯電話/PHSの1日の平均通話回数 N=1,100



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料1-2-15 年代別携帯電話/PHSの1日平均インターネット利用回数 N=1,100



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

解説

■年代別利用頻度

携帯電話/PHSの利用について、資料1-2-14は1日の平均通話回数を、資料1-2-15はインターネット（電子メール・情報サービス）の平均利用回数を年代別にみたものである。両者を比較することで、通話機能とインターネットサービス利用のバランスをみることができる。なお、前提として調査回答者は携帯電話/PHSでのインターネット利用者であるため、通話に関しては「通話の利用はない」という選択肢があるが、インターネット利用に関してはその選択肢は設けていない。

全体の傾向として、通話は1日「1~3回」（60.3%）が、インターネット利用も1日「1~3回」（56.7%）が多くなっている。全体的な数値だけで比較するとどちらも利用傾向は同じに見えるが、これをグラフのように年代別でみると興味深い結果がみられる。

通話については回数が15回未満まで増えるにつれて、相対的に若年層より高齢層が増えているが、インターネット利用に関しては利用回数が20回以上に増えるまで若年層の利用回数が他の年代に比べて非常に多い。特に10代でその傾向が顕

著で、彼らは通話を1日「1~3回」にとどめる代わりに電子メールや情報サービスに携帯電話/PHSを利用しているということである。これは、先に「携帯電話/PHSでインターネットを使うことで減少した他メディア」でもみたように、若年層における「電話」（通話）の減少という傾向と一致する。また、ここで初めて、この減少した「電話」が家庭内の固定電話に限らず、携帯電話/PHSの「通話」機能を多分に含むことを明らかに示している。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp